

2012年入学者用 学校案内



秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院

■中学生のみなさんへ

本学院は、昭和27年に秋■市立工芸学校として開校し、今年創立60年■を迎えた学校です。創立以来、秋■で唯一の美術系の学校として、生徒たちは絵画だけでなく、工芸やデザインを含めた美術全般にわたる幅広い分野の作品制作を続けてまいりました。学校名が変わり、学校のあり方が変わっても「ものづくり」に対する真しな姿勢は変わることなく受け継がれてきました。創立当時とは違い、ほとんどの生徒たちが大学、短大、専門学校等に進学するようになった現在でもその姿勢に変わりはありません。平成22年9月には6期の卒業生、玉川宣夫氏が重要無形文化財保持者(人間■宝)として認定されました。氏の制作活動の原点は学院の金属工芸科の授業にありました。「ものづくり」の好きな中学生の皆さん、自分の中に潜んでいる能力を伸ばし、価値ある「もの」を創り出す道に歩みを進めてみたいと思いませんか。

■学院のあゆみ

- 昭和27年 秋■市立工芸学校(修業2年)として設立。
- 昭和50年 秋■市立美術工芸専門学校と改称。中卒課程を3年制とし、高卒対象修業1年の専攻科を新設。
- 昭和60年 文部省から、大学入学資格付与の指定を受ける。高校卒業者と同一条件で進学が可能となる。
- 昭和63年 専攻科を専門課程と改称。修業年限を2年する。
- 平成6年 現在地に校舎竣工。
- 平成7年 専門課程を発展的に解消、秋■公立美術工芸短期大学が開学。これに伴い秋■公立美術工芸短期大学附属高等学院と改称。現在の姿となる。
- 平成14年 創立50周年記念式典、記念作品展を開催。
- 平成17年 学院創立50年と美術工芸短大創立10年を記念し、アトリエ「ももさだ」に作品展展示室を開設。

■3年間で学ぶこと

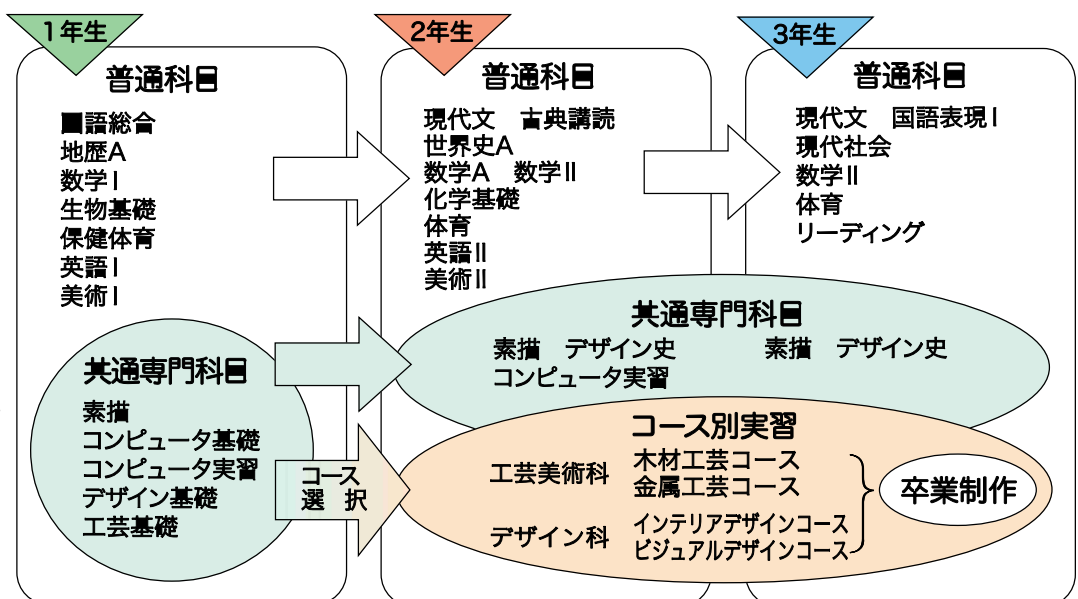
普通科■とともに工芸、デザインの分野の専門科■を幅広く学ぶことができる専修学校ならではの独自のカリキュラムを編んでおります。学年によって違いがありますが、約3分の1から2分の1の時間を美術・工芸関係の専門科■の授業にあてており、これが学院の大きな特徴となっております。

1年生	H	素描②	コンピュータ基礎①	コンピュータ習②	デザイン基礎②	工芸基礎②	美術Ⅰ②	■語総合④	地理A②	数学Ⅰ④	生物基礎②	保健体育②	英語Ⅰ④	
	R①													
	H	素描②	デザイン史①	コンピュータ習②	コース別実習④ 木材工芸 金属工芸 インテリアデザイン ビジュアルデザイン		美術Ⅱ②	現代文②	古典講読②	世界史A②	数学Ⅱ②	数学A②	化学基礎②	体育②
R①														
3年生	H	素描④	デザイン史①	コース別実習⑧ 木材工芸 金属工芸 インテリアデザイン ビジュアルデザイン			選択教科②	現代文②	■語表現Ⅰ②	現代社会②	数学Ⅱ②	体育②	リーディング④	
	R①													

※ ○内の数字は単位数

■専門科目の学習の流れ

一括募集、一括入学であるため1年生では、コースに分かれることはありません。全員が同じ内容の普通科目と同じ内容の共通専門科目を学習します。共通専門科目(実習)はクラスを15人前後の2班に分けた少人数での学習となります。2・3年生で所属する科とコースの選択に関する活動は、1年生の後半から始まります。



■コースの選択

1年生の3月に、それぞれの希望や適性・成績に応じて木材工芸、金属工芸、インテリアデザイン、ビジュアルデザインの各コースへの所属が決まると校長からコース決定通知書が手渡され、2年生の新学期から各コースでの学習が始まります。コース別学習は人数の少ないコースで4人、多いコースで10人ぐらいでの学習となります。3年生になると、コース別学習の集大成として卒業制作に取り組みます。

■普通科目

本学院では、美術や工芸関係だけでなく普通教科の学習にも力を入れております。これは高い教養と進学に対応する学力を身に付けるためであると同時に、創作活動の基盤となる思考力や広い視野を身に付けるためでもあります。学期ごとに中間・期末の考査を実施し、基礎学力定着を確かめ、さらに全圖模試に取り組むことで進学への意識も高めております。



普通科目担当教員(平成23年度)

- ・照井 祥子 國語総合、現代文、國語表現Ⅰ、古典講読
- ・佐々木幸世 地理A、世界史A、現代社会
- ・伊藤 賢悦 数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ
- ・萩野 和臣 理科総合B、生物Ⅰ
- ・石川 学 保健・体育
- ・渡部 礼子 英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング
- ・山下佐紀子 美術Ⅱ
- ・和泉 美佳 美術Ⅰ



■中学生の美術教室

中学生に学院を理解していただく機会として、毎年夏休みに「中学生の美術教室」を開催しております。

23年度は、8月2日(火)に実施しました。デッサン、クラフト木材、クラフト金属、コンピュータ、インテリア(模型)の5コースを開催し、県内39中学校から142名の参加がありました。

デッサンコースでは鉛筆の削り方、構圖の取り方、陰影の付け方などを体験しました。クラフト木材コースでは、オリジナルの壁掛け時計を作りました。クラフト金属コースでは、七宝技法を使ってキーホルダーを作りました。インテリアデザインコースでは、室内空間の模型を作りました。コンピュータコースでは、PCで作ったデザインをエコバックにプリントしました。

■共通専門科目

1年生では、デザインや工芸の基礎となる科目を幅広く学び、基礎的な造形感覚を養っていきます。また、このような学習を通して、自分がどの分野に適性があるのかをじっくり考えることができます。共通専門科目の中でも素描は3年間、コンピュータ実習は2年間継続して学び、進学やデザイン実務に対応する確かな力を身に付けます。



共通専門科目担当教員

(平成23年度)

- ・菊地 篤 素描
- ・芝山真理子 工芸基礎、素描、デザイン史
- ・岸上 恭史 素描
- ・山下佐紀子 デザイン基礎、美術Ⅱ
- ・石川 学 コンピュータ基礎
- ・澤田 弦吾 デザイン史、美術Ⅲ、コンピュータ実習
- ・松田 明德 工芸基礎、美術Ⅲ
- ・大川喜代巳 コンピュータ実習
- ・和泉 美佳 製圖

中学生の美術教室 デッサンコース



入試と同じようにモチーフを並べてデッサン練習をおこないました。

工芸美術科

木材の香りに包まれて

■木材工芸コース

木材工芸コースの学習は、鉋やノミなどの刃物を研ぐことから始まり、手工具の使い方を身に付けると同時に、大型木工機械も使用して家具の制作に取り組みます。

2年生では、棚や引き出しなどの収納家具(箱物家具)と椅子などの脚物家具を制作し、その構造や加工法の基礎を学びます。3年生では卒業制作として、一人一人のアイデアをもとに、オリジナル家具の制作を行います。木材の魅力を生かした作品制作をめざしています。

コース担当教員 岸上 恭史 芝山真理子
佐々木 勇 松 明徳

平成22年度 卒業制作

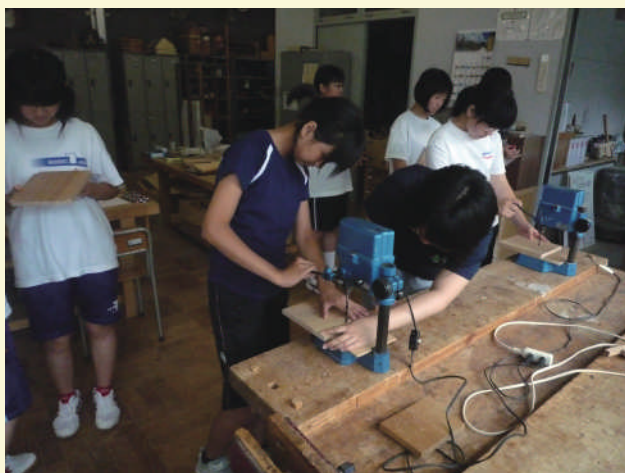


銀谷



半

中学生の美術教室 クラフト(木工)コース



時計の文字盤をデザインし「壁掛け時計」を制作しました。

金属の光に魅せられて

■金属工芸コース

金や銀などの貴金属で作る指輪やペンダントなどのジュエリーの制作や、鉄や銅、ステンレス、アルミなどの金属と紙や布、ガラスなどを組み合わせた照明器具等を制作することで、鍛金、彫金などの金属加工の基本的な技法を学びます。若さあふれる新しい感覚の作品を生み出すための知識と技術を身に付けます。

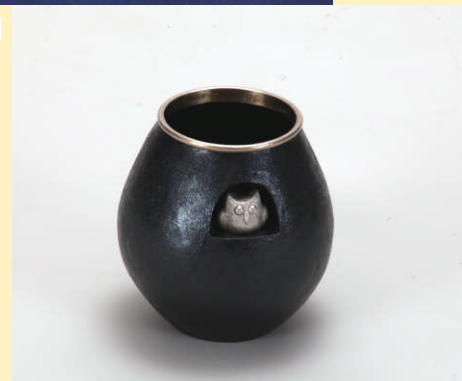
このコースは全体的に見ても非常に希少なコースです。

コース担当教員 芝山真理子 松 明徳
鎌 俊弘 内藤 健一

平成22年度 卒業制作



越中



柴

中学生の美術教室 クラフト(金工)コース



七宝のキーホルダーやアクセサリ作りを体験しました。